

信州の木活用モデル地域支援事業について

県産材利用推進室

1 概要

森林づくり県民税を活用し、地域が主体となり、里山の森林資源の活用を通し、地域の活性化やエネルギーの地域内自立を図る「信州の木活用モデル地域支援事業」を公募したところ、14件の応募があり、商店街等の木質化や製品の開発・普及等の先進的取組を行う5件の事業を採択した。

2 予算額等

- (1) 予算額：12,500千円（基金繰入金）
 (2) 補助率：補助率10/10（1箇所2,500千円を上限）

3 実施箇所等

（単位：千円）

事業主体	事業名 (実施地域)	事業概要	(対象事業費) 補助金額
木育全国生産者協議会 (塩尻市)	健康サービス産業界と連携したトレンド形成・流通機構開発と一体となった「店舗・居室等木質化キット」開発事業 (首都圏・塩尻市・上松町)	首都圏のヨガ教室と連携し、若い女性層等のニーズを踏まえたフローリングキット等を開発するほか、森林でのヨガツアーを開催し、利用層を広げる。	(3,500) 2,500
一般社団法人 塩尻市森林公社 (塩尻市)	市民ホール木のめぐり創出事業 (塩尻市)	市役所市民ホールに、子ども連れの母親や車いす利用者等のニーズを取り入れたキッズサークル(多目的記載台)を設置し、木育を推進する街づくりを行う。	(2,684) 2,500
安曇野市里山再生計画 安曇野材利用促進プロジェクト (安曇野市)	安曇野材利用促進事業 (安曇野市)	市内生産の地域材「安曇野材」の利用促進と差別化のため、安曇野材利用の住宅カタログを作成・頒布するとともに、ミニチュアハウスを作成し、イベント等に展示する。	(2,650) 2,500
NPO 法人 森のめぐみ (信濃町)	「道の駅・特産農産物直販所」活性化事業 (信濃町)	間伐材利用の可動式ハウス・テラスを「道の駅 しなの」に設置して季節野菜販売等に活用し、他の商業施設や一般家庭への県産材丸太の普及に繋げる。	(3,500) 2,500
NPO 法人 散歩が楽しい地域を拓く会 (長野市)	木と自転車で繋ぐ iiyama チャリまちプロジェクト (飯山市)	飯山仏壇の伝統技法を活用した木製の自転車スタンドを開発し、飯山市街地に設置するほか、カフェ屋台を開発し、自転車を通じた県産材の利用促進を図る。	(2,500) 2,500
合計			(14,834) 12,500

4 本事業により期待される効果

地域の里山の森林資源の持続的活用を図ると共に、取組内容について事業者・県等が情報を発信し、信州の木を活用した取組が県内の各地へ展開していくことにより、地域の活性化やエネルギーの自立を促進する。